

再生可能エネルギー（RE）研究委員会

（委員長、青木修三）

2011年東日本大震災直後、学会有志はエネルギー政策の抜本的見直し等を骨子とする緊急提言を発表。同年秋、提言の重要テーマである再生可能エネルギー（RE）に関する①情報把握、②知識の深耕、知見共有、③RE活用と地域の活性化等について真剣に討議する場として、「再生可能エネルギー（RE）研究委員会」を立ち上げた。

爾来、①50回の委員会（うち14回専門家意見聴取）、②委員会内の実践の場、海士町訪問10回に加え、北海道から沖縄に至るRE活用先進地域訪問9回、③シンポジウム開催7回（うち学会研究報告大会4回）を経て、本年3月、海士町に対し、「海士町のさらなる自立・活性化に向けてー再生可能エネルギーの活用とスマートコミュニティ確立をー」を提言、活動目的達成を確認、委員会活動を終了した。

今般、「委員会活動報告書（環境・資源エネルギー問題にさらなる関心を）」をまとめ、ホームページに報告書趣旨を掲載した。

[RE委員会活動報告書本文](#) (PDF:944kb)